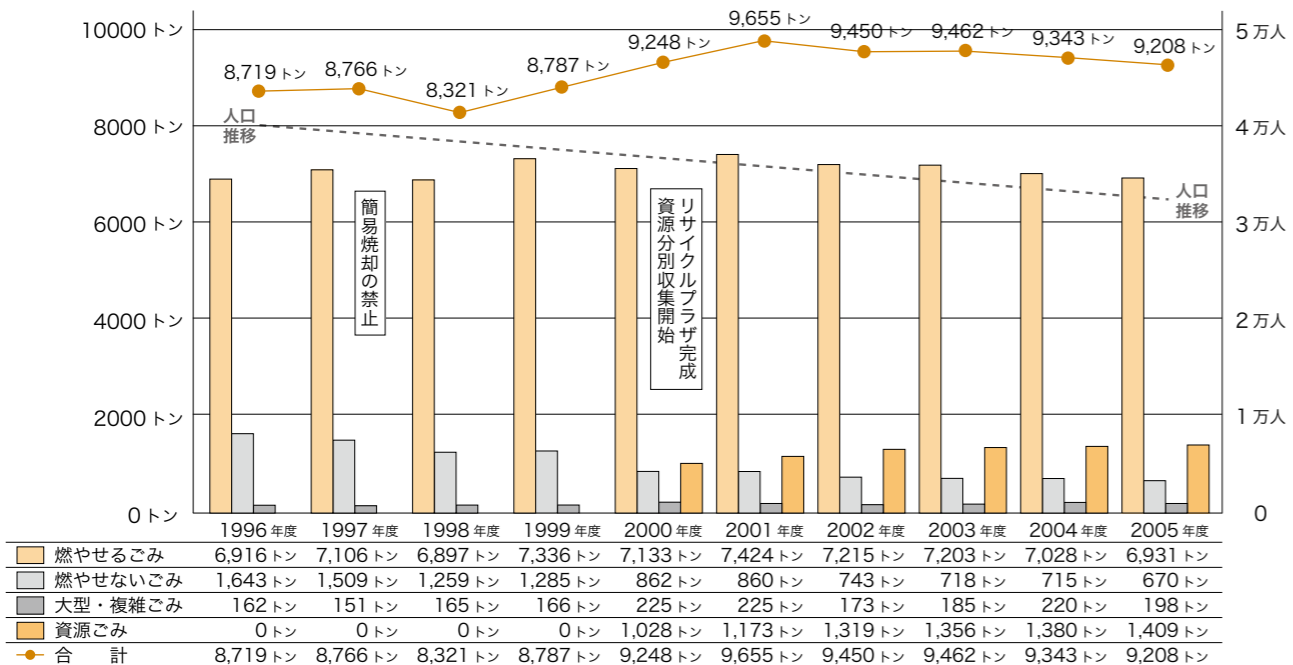




三好市（旧6町村）の家庭ごみ量と人口推移



# 特集

## みんなで考えようごみの減量

ごみ問題は新聞やテレビで報道されない日がないくらい日常的になっています。毎年5月30日は「ごみゼロの日」。そして、この日から6月5日までの1週間は「ごみ減量・リサイクル推進週間」です。今月の市報では、私たちの生活から切り離すことのできない「ごみ」について特集し、ごみの何が問題なのか、何が大変なのか。資源とは何か、リサイクルとは何か・・・皆さんと一緒に考えてみたいと思います。



### 三好市のごみの現状

三好市と東みよし町から出るごみを処理しているのは、猪ノ鼻峠の中腹にあるみよし広域連合清掃センターです。昨年度の三好市（旧6町村）の資源物を含めた家庭ごみ（事業系を除く）の総排出量は9208トンで、前年度に比べると、1.4%、135トンが減少しています。しかし、市内の人口が、毎年2%近く減少を続けている中、住民一人当たりの排出量は年々増加しており、昨年度は一人当たり約265キログラムのごみを排出したことになります。ごみの排出量がこのままの水準で推移した場合、清掃センター施設の処理能力では、いずれ処理できなくなると言われています。

### 可燃ごみの約5割が資源化と燃焼ごみ

清掃センターでは2000年5月より、ごみの分け方・出し方を4種10分別で実施しています。しかし、この4種10分別が、まだまだ十分に徹底されていないそうです。同センターの調査では、清掃センターに搬入される家庭ごみの75%が可燃ごみで、可燃ごみには新聞やダンボールなどのリサイクルできる紙類が5割近くも含まれているそうです。このことは昨年度の場合、3000トンを超える量が、資源物として出されれば再生品としてリサイクルできるものを焼却処分してしまったことになるのです。さらに可燃ごみの1割程度を占める生ごみには手付かず厨芥と呼ばれる、買い過ぎてしまったり、食べないで腐らせてしまった理由で発生する生ごみが含まれていますが、「もったいないけど…」と思いつつ捨ててしまう場合も少なくないのではないのでしょうか。この手付かず厨芥は生ごみの約15%を占めると言われ、昨年度の場合、約103トンもの「もったいない生ごみ」が捨てられたことになりました。

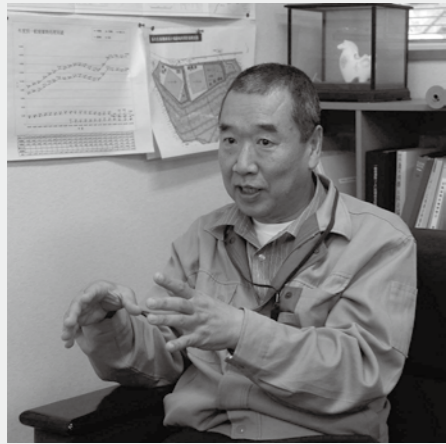
### 可燃ごみは微減。しかし危機的状況は継続

これまで清掃センターでは、ごみの資源化と減量化にむけた「ごみをどうにかしよう懇談会」の開催や各種のリサイクル講座の開催、マイバックの配布など様々なごみの減量化・資源化の取り組みを行ってきました。簡易焼却が禁止された1998年度から増加を続けていた可燃ごみ量が、2001年度をピークに減少を続けているのは、これらの取り組みに対して、多くの市民の皆さんが積極的に協力してくれた結果です。

現在、清掃センターでは毎日約50トンの可燃ごみを焼却していますが、焼却施設の老朽化により、8時間で処理できていた量が13時間もかかってしまうと現状にあるそうです。焼却施設は、今後さらに処理能力の低下が予想され、焼却ごみが処理しきれなくなる可能性もあります。

焼却ごみ量の減少は、焼却ごみ施設への負担軽減につながるから、やはりこれからも継続してごみの減量化を推進していく必要があります。





### 勇気と行動でごみ減量を

みよし広域連合  
清掃センター・リサイクルプラザ  
所長 内田好明さん

清掃センターでは、ごみ焼却処理・不燃物処理・資源リサイクル・最終処分場の各施設が稼働しています。

ごみ焼却施設は昭和56年に建設され、平成6・7年に大改修してから12年が経過し、焼却炉は老朽化が進み、またごみの量も増え続け今では夜10時まで時間を延長して、毎日の燃やせるごみを焼却処理しています。このままでは清掃センターでごみを処理しきれなくなる恐れがあります。そこで市民の皆さんにごみの減量をお願いしていますが、進まないのが現状です。

どうすればいいか？それは「ごみを家に持ち込まない」「清掃センターに出すごみを少なくする」これでいいのです。「ごみを持ち込まない」とは、ごみになる物をもらわない・買わない・返すこの「勇気」です。「出すのを少なくする」とは、資源物を集団回収する・有価物は業者に売却する・不用品はリサイクルするこの「行動」です。

「勇気」と「行動」をみんなが起せば可能です。どうかごみ減量にご協力をお願い致します。

## 3R<sup>(ずりーあーる)</sup>とは

まず **Reduce** = 減らそう

ごみを減らす一番の方法は、できる限りごみを作らないことです。捨てるものを徹底して減らしましょう。

- マイバッグを持参し、レジ袋は断るようしましょう。
- 食品などは余分に買わない、作らないようしましょう。
- 詰め替え商品を利用し、容器は繰り返し使しましょう。

次に **Reuse** = 再使用しよう

いらなくなったものを捨てる前に、ほかに使えないか考えてみましょう。

- 家具など、修理が可能な物は修理して長く使しましょう。
- 捨てる前に別の用途を考えてみましょう。
- フリーマーケットやリサイクル店などを活用しましょう。

そして **Recycle** = 再資源化しよう

ごみを減らし何度も使用した結果、どうしても使えなくなったならリサイクルしましょう。

- 紙類、布類は分別して資源物の収集に出しましょう。
- ビンや缶、ペットボトルなどは資源物として中身を抜き、洗ってから回収に出しましょう。

貴重な資源が使われています、また、まだ使えるものを焼却処分することにも資源や費用が使われることを考えても、やはりもったいないことです。

「リユース」はいらなくなったものをごみとして出すのではなく、洗ったり直したりして繰り返し使うことです。具体的な活動は、ビールや酒などのびんは販売店へ返却すること、着られなくなった衣類などは兄弟・姉妹や近所できてる人へあげるなどがあります。なぜそうするべきか。びんは洗浄して繰り返し使うことができるもの。これを捨ててしまうのはもったいない。また、自分はその衣服が不用になっても、それを必要としている人もいるかもしれないのに捨てるのはもったいないからです。

3Rの中でも皆さんにもなじみの深い言葉「リサイクル」は、ごみの分別をきちんと行い、資源となるものを資源物収集へ出して再生利用すること。具体的には、多くの皆さんが実践していることですが、資源物をごみと分別し、市の資源物収集日に出すことです。これも、資源物として出せば新たな製品として生まれ変わることができるものを、焼却処分してしまうのはもったいないためです。



### みよし広域連合 清掃センター

三好市池田町西山登り尾 1348-67 (☎ 72-0006)



収集車で集められたごみは、どのように処理がされているのでしょうか。清掃センターを見学してきました。

市内から集められたごみは、まず収集車ごと計量された後、ごみピットと呼ばれる施設に投入されます。(写真①②)

ごみピットには1日約50トンのごみが集められ、そのごみは巨大なクレーンで焼却炉へと移されます。(写真③)

清掃センターで稼働する2台の焼却炉は、不完全燃焼にならないよう、常に燃焼状態が監視されています。(写真④⑤)

焼却で発生する煙は、様々な装置で有害な物質を除去しています。煙突から出る煙は実は水

蒸気なのです(写真⑥)  
焼却でできた灰は、可燃ごみに混入した不燃ごみ等と一緒に回収され、最終処分場で埋め立て処分されます。(写真⑦⑧)

**目指せ。1世帯1口100g削減**

今後どれだけのごみを減らさなければならぬのでしょうか。「みよし清掃会議」では、「可燃ごみに混入している紙類などの資源物分別の徹底や、手付かず厨芥(ちゅうかい)を減らす取り組み、マイバッグ持参によりレジ袋の利用を減らすことなどによって「1世帯で毎日100gのごみを減らそう」の運動を推進しています。この運動が三好市内と東みよし町内で達成することができれば、1年で約700トンものごみが減る計算になります。

それでは、これまでのごみ減量化の取り組みから、さらにごみを減らすにはどうすればよいのでしょうか。その一つのキーワードとして挙げられるのが、前ページにも出てきた「もったいない」です。もったいないの視点からごみ減量を考えてみましょう。

**ごみを減らす3つのR**

ごみを減らす工夫の一つとして「3R」があります。これは、リデュース(物を大切に使う・ごみを減らそう)、リユース(繰り返し使う)、リサイクル(再び資源として利用しよう)の3つでごみを減らそうというものです。「リデュース」はごみを出さない生活を心掛けること。無駄なものを買わない、もらわない。物を大切に長持ちさせることです。具体的な活動として、買い物にはマイバッグを持参しレジ袋をもらわないこと、シャンプーやリンスなどは詰め替えのできる商品を選ぶこと、食品は食べられる分だけを買うなどがあります。

なぜ、そうしなければならぬのでしょうか。それは、買ったものを自宅へ持ち帰るだけのために、レジ袋をもらって捨ててしまう、シャンプーなどの容器は中身を補充すれば使えるのに捨ててしまう、余った食品を捨てるといった行為がもったいないからです。

レジ袋もシャンプーなどの容器も、それを作るためには



# まずは 1世帯で毎日 100gのごみを減らそう!!

コツコツと毎日積み重ねていくと、1年で480トンものごみが減る計算になります。三好市では、毎日1世帯あたり約1400gの燃やせるごみを出しています。

## ごみを減らす5つの心がけ

### 無駄にしない

- 買いすぎない。
- 作りすぎない。
- 食べ残さない。

### 選ぶ

- 詰め替え容器のものを買う。

### リサイクルする

- ごみにしないで資源物に出す。

### 返す

- お店に返せるものは返す。

### 断る

- 買物には買物袋を持って行き、レジ袋をもらわない。
- 過剰包装を断る。



## リサイクルプラザの催し

### 「自転車を一っしょに修理する会」

ごみとして捨てられた自転車を、皆さんに修理してもらい、お持ち帰りいただきます。講師が修理のお手伝いをしますので、タオルと軍手、参加費（500円）をご持参の上、汚れてもよい格好でご参加下さい。参加される方は、前日までに電話でお申込み下さい。

開催日時 6月22日(木) 午前の部 10時～  
午後の部 13時30分～  
場所・申込 みよし広域連合リサイクルプラザ  
募集人数 各5名程度

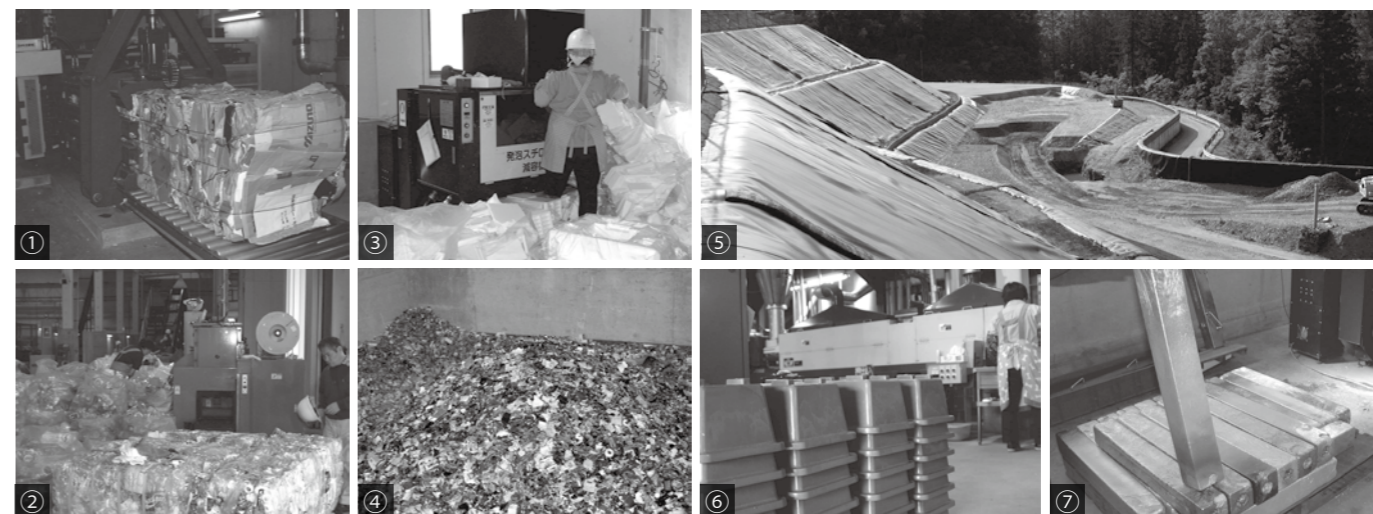
- 午前の部・午後の部のご希望を申込み時にお知らせください。修理には3時間程度かかります。
- リサイクルプラザでは、中古自転車の販売はしていません。また、この会に参加せずに自転車をお持ち帰りいただく事を固くお断りいたします。



い社会へとつながります。  
「たかがごみ」「私ぐらいいは」の考えはやめ、一人ひとりがごみを減らす気持ちを大切にしましょう。皆さんの生活の中にも「もったいない」ことが潜んではいませんか。使い捨ての生活様式を見直し、皆さんのちょっとした心がけで、ごみを減らしていきましょう。



みよし広域連合 清掃センター リサイクルプラザ  
三好市池田町大利古畑 25-4 (☎74-1160)



資源物として出されたごみが集められるリサイクルプラザ。さて、どのようなごみが処理されているのでしょうか。

- ① 圧縮・梱包されたダンボール。古紙業者によって再生紙としてリサイクルされます。
- ② 圧縮され、固められたペットボトル。繊維・プラスチック用品として再生されます。
- ③ 発泡スチロールや白色トレイを砕き、加熱、減容した後、再生業者に引き取られます。
- ④ 自動選別機で色別に選別され、集められたビン類。ビンやタイル、断熱材の材料等として再生されます。
- ⑤ リサイクルプラザ近くにある埋立容量50000立方メートルの最終処分場。清掃センターの焼却灰や破砕した不燃ごみなどが埋め立てられます。ごみが増え続けると、この広大な最終処分場もすぐに一杯になってしまいます。
- ⑥ 集められた廃プラスチックは破砕機に送られ、細かく砕かれます。重質のものや軽質のものに分けられ、軽質のものが鉢やプランターなどに再生されます。
- ⑦ 発泡スチロールを溶かして再生された擬木。公園等で使われています。

## もう一度見直しませんか。あなたの生活

私たちの生活とごみは切り離せないものです。どんなにリサイクルが進んでも、ごみの量を減らさなければ意味がありません。でも、今ある生活を我慢したり、不便にはしたくない。そこで各家庭でのちよっとした工夫が、大きな効果を生むことがあります。たとえば、買い物へ出かける前に必要なものをメモ書きしたり、いらなくなった服は小さく切って、フライパンなどの油をふく布に利用し、中性洗剤や水の使用量を減らしたりと、生活パターンに取り入れることができます。

ごみ減量の取り組みは、とても大変かもしれませんが、決してできないことではないと思います。今よりほんの少しだけ手間を加えるだけで、可能なものも多くなります。そしてそれは、限りある資源を有効活用し、環境にやさし

## もったいないを考える

3Rの具体例を見ても、なぜそれをしなければならぬかと言いつつ、「もったいない」からという理由になります。今以上にもったいないことを少なくすることができれば、捨てるという行為が減少し、必然的にごみの排出量が減ることになります。それでは、この重要なキーワードである「もったいない」を邪魔しているものは何でしょうか。その一つに「面倒くさい」と言う気持ちがあるのではないのでしょうか。「分別するのが面倒くさい」とリサイクルできるごみを可燃ごみの袋に入れて捨ててはいませんか？「洗うのが面倒くさい」と使い捨ての食器や箸などを買ってしまったていないでしょうか？「何度も買い物に来るのは面倒くさい」と必要以上の量の食品を買ってしまったていないでしょうか？

このように、様々なところに「面倒くさい」が潜んでいます。この「面倒くさい」を少しずつでも「もったいない」に変えていくことができれば、全国的に大きな問題となっているごみ問題の解決につながります。